

地域等との連携について

資料③

斐太高等学校

■実施している内容

<2016年3月調査>

| No | 名称(事業名など) | 参加生徒 | | 実施内容、テーマなど | 連携自治体・組織など | その他 |
|----|-----------|------|-----|---------------------------|------------|-----|
| | | 学年 | 人数 | | | |
| 1 | スタディサポーター | 1.2 | 150 | 生徒が出身中学校に出向き、年3回、学習指導をする。 | 高山市教育委員会 | |

■計画中の内容や高山市等との連携が可能と思われる内容

| No | 名称(事業名など) | 参加生徒 | | 実施内容、テーマなど | 連携自治体・組織など | その他 |
|----|----------------------|------|----|---|---------------------|-----|
| | | 学年 | 人数 | | | |
| 1 | 起業提案コンテスト | 2 | 全員 | 将来、高山に帰ってきたとき、自分ならこんな起業をしたいというプレゼンテーションのコンテストを開催する。 | 有斐会・高山市教育委員会・高山市商工会 | |
| 2 | 小学生のおにいさん、おねいさんといっしょ | 全校生徒 | | 小学生版スタディサポーターで、保護者とともに基礎力を定着させる取り組み。 | 高山市教育委員会 | |

地域等との連携について

飛騨高山高等学校

■実施している内容

<2016年3月調査>

| No | 名称(事業名など) | 参加生徒 | | 実施内容、テーマなど | 連携自治体・組織など | その他 |
|----|------------------------|-------|-----|---|--------------------|----------------------|
| | | 学年 | 人数 | | | |
| 1 | 学習成果発表会 | 1.2.3 | 全員 | 地域的課題を積極的にテーマ設定し、研究・発表する。 | 関係自治体・関係機関等 | 全校生徒 |
| 2 | 飛騨高山ふるさと企業・OB & 生徒交流会 | 1.2.3 | 全員 | 20を超える企業・団体の方々に参加をいただき、地元企業を学び、理解を深めるとともに、親の思い、地域活動参加の意義などを熱くお話しいただくキャリア研修。 | 育友会・同窓会・地元企業・団体 | 全校生徒 |
| 3 | ひのう講座(土曜講座) | 2.3 | 10 | 農業科(園芸科学科・生物生産科・環境科学科)の学習内容を小学生(5・6年生)、中学生に体験させる。 | 飛騨地区小中学校 | 農業3学科、年6回・1回につき2講座実施 |
| 4 | グリーンライフ農園交流 | 3 | 20 | 学校の農園を地域に開放し、農業を通して交流を図る。 | 地域住民 | 園芸科学科/年度初めに募集 |
| 5 | 古い町並にアサガオを | 2.3 | 数名 | 高山市の古い町並商店街にアサガオを提供する。 | 高山市 | 園芸科学科 |
| 6 | 花づくり講習会 | 2.3 | 数名 | 花づくりの基礎講座。 | 高山市 | 園芸科学科 |
| 7 | 収穫体験 | 2.3 | 数名 | 果樹やトマトの収穫体験。 | 保育園・幼稚園・小学校 | 園芸科学科/申し込みがあれば |
| 8 | 特別支援学校との交流 | 3 | 40 | 飛騨特別支援学校中等部の生徒と、収穫体験や食味体験などの交流を行う。 | 飛騨特別支援学校 | 園芸科学科 |
| 9 | 雌肥育素牛の飼育管理技術の向上 | 2 | 4 | 卵巣摘出(SPAI)を行い、地域と連携しながら生育調査を行う。 | JA飛騨ミート | 生物生産科 |
| 10 | おからブタ | 2 | 3 | 高山市内の豆腐店で廃棄されるおからを利用し、肉質の向上を図る。 | 高山市内の豆腐店 | 生物生産科 |
| 11 | 山ブドウを地域の特産品に | 2 | 4 | 山ブドウを活用した特産品の開発。 | 中山間地域試験場・飛騨山ブドウ研究会 | 生物生産科 |
| 12 | 木曾馬の繁殖と調教 | 2 | 5 | 種の保存のため木曾馬の繁殖、木曾馬の活用。 | 木曾馬保存会 | 生物生産科 |
| 13 | 建設現場見学会 | 1 | 40 | 建設現場、林建設現場の見学研修。 | 高山建設業協会 | 環境科学科 |
| 14 | 林業就業者推進事業 | 1.2 | 80 | 林業現場、市場、製材所の見学研修。 | 岐阜県農林事務所林業課 | 環境科学科 |
| 15 | 飛騨の森再生事業 | 1.2.3 | 120 | 高山西ICビオトープの維持管理と調査。 | 国土交通省高山国道事務所 | 環境科学科 |
| 16 | 地域防災教育活動(メンテナンスエキスパート) | 2.3 | 15 | 地域の小学生対象に、DIG(災害図上訓練の一手法)講習会を開催したり、地域のインフラ点検を行う。 | 産官学合同 | 環境科学科 |
| 17 | 荒城農業小学校(講師) | 2.3 | 10 | 農業体験を通して、食育や自然環境について学ぶ。 | JA飛騨 | 環境科学科 |

| | | | | | | |
|----|-------------|-------|----|---|----------------------------------|-------------------|
| 18 | 児童館ボランティア | 1.2.3 | - | 一年間を通し、イベントの企画・運営の担当や、ボランティアスタッフとして活動している。生活文化科の生徒だけではなく、商業科のクラブ員も積極的に活動している。本年度の活動は、①ちよこっと夏祭り(8/8)、②ソルトキャンドル作り(9/12)、③クリスマス会の企画・運営(12/19)、④バレンタインクッキング(2/13)などである。主に幼児、小学生の指導に当たる。 | ふれあい児童館 | 生活文化科・ビジネス科・情報処理科 |
| 19 | 商品開発 | 1.2.3 | 25 | 農・工・商を連結する 宿讎カボチャアイス、えごまアイス、山ぶどうアイス、山ぶどうゼリーと、機能性成分を生かしヘルス&ビューティをコンセプトにえごま茶の商品開発と販売活動。 | 各研究会・JAひだ・飛騨酪農農業協同組合・石本製菓・なべしま銘茶 | 商業研究部 |
| 20 | 親子ふれあい料理講習会 | 3 | 27 | 乳児・幼児をもつ保護者を対象にして、高校生と交流する企画を行っている。子どもと家族と一緒に食べることができるレシピを考案し、料理講習会を行っている。 | 高山市子育て支援センター | 生活文化科 |
| 21 | 福祉に関する講座 | 3 | 8 | 介護・福祉に感心のある高校生に、高山市の介護の状況を伝えたいという要請を受け、昨年度から行っている。介護について、実習を含んだ専門的な技術を学ぶことができる。自分が住む地域の介護福祉について具体的に学習ができ、また、実習も専門職の方の指導を受けることができるため、知識や技術を実践的に身につけることができる。 | 高山市高年介護課 | 生活文化科 |

■ 計画中の内容や高山市等との連携が可能と思われる内容

| No | 名称(事業名など) | 参加生徒 | | 実施内容、テーマなど | 連携自治体・組織など | その他 |
|----|---------------------------|--------|----|--|--------------------------------------|-------------|
| | | 学年 | 人数 | | | |
| 1 | 小中学校教員の農業体験学習 | 2.3 | 数名 | 園芸科学科・生物生産科の学習内容を体験する。 | 高山市教育委員会 | 園芸科学科・生物生産科 |
| 2 | 地域防災教育活動 | 2.3 | 10 | 地域の小学生対象にDIG講習会を実施する。 | 高山市教育委員会 | 環境科学科 |
| 3 | 地域グローバル化推進事業(仮) | 3 | - | 地元企業からの要請の強い中国語圏の顧客、労働者とのコミュニケーションを図るため、観光案内やビジネスシーンでの基本的な会話ができるようにする。課題研究や放課後の講座で対応。 | 高山市観光課・飛騨高山コンベンションセンター・市内企業 | ビジネス科 |
| 4 | 商品開発 | 1.2.3 | - | 高齢者・障がい者の生活支援をも念頭にしたえごま茶の商品開発と販売活動。山ぶどうドリンクの商品開発。 | 山ぶどう研究会・なべしま銘茶・JAひだ・障がい者就労支援所はたらくねっと | 商業研究部 |
| 5 | 西陣織活用講座 | 1.2.3 | - | 京都との関係を再構築し、生地を生かした商品開発を目指す。 | 文化政策まちづくり大学校・西陣織工業組合 | 商業研究部 |
| 6 | 高山市(飛騨地域)高校生インターンシップ事業(仮) | 市内外高校生 | | 従来、高校ごとに実施しているインターンシップを、高山市あるいは飛騨地域で広域的に各企業の協力を得ながら年間を通して実施する。これにより、地元企業への理解を深め、地元企業への就職につなげるとともに、特定日に集中することがないため、授業時間の確保や部活動への影響も最小限に抑えることができる。 | 各研究会・JAひだ・飛騨酪農農業協同組合・石本製菓・なべしま銘茶 | |

地域等との連携について

高山工業高等学校

■実施している内容（H27年度実績）

<2016年3月調査>

| No. | 名称(事業名など) | 参加生徒 | | 実施内容、テーマなど | 連携自治体・組織など | その他（担当／実施月） |
|-----|---------------------------|-------|-----|---|---|------------------------------|
| | | 学年 | 人数 | | | |
| 1 | 県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業 | 1.2.3 | 全員 | 市内の空き店舗を借用(賃借)し、サテライトキャンパス“飛驒の工房”を開設。地元企業等と連携して開発した製品を製作・販売する。また、ものづくり体験教室を開催する。 | ア・ラミヤ、高山陣屋朝市、高山陣屋、ハローSC、地元企業／岐阜県教育委員会 | 研究指定／H25～27 |
| 2 | インターンシップ | 2 | 116 | インターンシップを実施することにより、勤労観・職業観を醸成し、主体的に進路を選択する能力や問題を解決する資質や能力、人間として調和のとれた豊かな人間性などの「生きる力」を育成する | 地元企業／岐阜県教育委員会 | 各学科対応／10月 |
| 3 | 地元企業見学 | 1 | 138 | 地元にある企業を見学することにより、将来自分が就こうとする職業等を考え、新しい知識・技術に触れることで、職業意識の高揚をはかる。 | 高山市雇用促進協議会／バス手配 | 各学科対応／11月 |
| 4 | 産業現場における実習 | 3 | 4 | 木製家具製造会社に出向き、家具製造の一連の工程を体験するとともに、プロの指導のもと、家具(スツール)製作する。(地場産業を担う人材育成) | 飛驒木工連合会(実習先：飛驒産業(株)、柏木工(株)、日進木工(株)、(株)シラカワ) | 建築インテリア科／7～10月 <過去25年の実績> |
| 5 | テクノボランティア事業①「ベンチの製作」 | 1.2.3 | 14 | ものづくりによるボランティア活動(本校が持つ、技術力を地域等に還元)ベンチの製作 | 道の駅「ハスカル清見」／(株)ふるさと清見21 | 建築インテリア技術部／8月 |
| 6 | テクノボランティア事業②「テーブル、ベンチの製作」 | 1.2.3 | 14 | ものづくりによるボランティア活動(本校が持つ、技術力を地域等に還元)テーブル、ベンチの製作 | 道の駅「渚」／国土交通省 | 建築インテリア技術部／3月 |
| 7 | テクノボランティア事業③「祭り屋台のLED化」 | 3 | 5 | 2000全国産業教育フェアで制作した祭り屋台「匠龍台」の提灯に使用されている光源を白熱電球からLED光源に変更。 | ひだホテルプラザ／本校製作屋台「匠龍台」 | 電子機械技術部／12月 |
| 8 | テクノボランティア事業④「提灯のLED化」 | 3 | 5 | 神社の提灯に使用されている光源を白熱電球からLED光源に変更。(LED化) | 東山白山神社委員 | 電子機械技術部／12月 |
| 9 | 特別支援学校との交流①「介護体験」 | 2.3 | 9 | 学校間での生徒の理解を深める。(人と関わることの楽しさ、支援の輪の広がり、支援や介助の体験、障がいがある子の理解、キャリア教育の一助) | 飛驒特別支援学校 日赤分校 | 本校生徒会／7,8,2月 |
| 10 | 特別支援学校との交流②「ものづくり支援」 | 1.2 | 72 | 学校間での生徒の理解を深めるとともに、お互いに持っている能力の向上を図る。(特別支援学校の木材工芸班作業製品の開発／アイデアの提案) | 飛驒特別支援学校 高等部(岐阜県教育委員会) | 建築インテリア科／5～3月 |
| 11 | ものラボワークショップ | 3 | 10 | 産学連携で地元小学生を対象としたものづくり教室。身近な道具を使って「ピタゴラスイッチ(NHKの番組)」からくり装置製作で、発想力を高めることを目標としている。 | 東京大学(株)和井田製作所、高山市教育委員会) | 各科代表生徒／8～12月 |

| | | | | | | |
|----|---|-------|----|---|---|------------------------------------|
| 12 | 親子ものづくり教室① 「千鳥格子」 | 1.2.3 | 5 | 「飛騨伝統の組子・千鳥格子」、匠の技を子供たちに体験してもらうことにより、減少の一途をたどる飛騨の匠を絶やさぬように継承しようと計画したプロジェクトです。 | 高山中央ロータリークラブ ／市内の園児・児童を募集 (85人) | 建築インテリア科／8月 |
| 13 | 親子ものづくり教室② 「お菓子づくり」 | 1.2.3 | 13 | 3Dプリンターを利用したお菓子づくり（クッキーの型を3Dプリンターで作り、型抜きからラッピングまでを体験） | 本校主催／市内の園児・児童 | 電子機械技術部／12月 |
| 14 | 地域イベント参加① 「南ふれあい文化祭」 | 1.2.3 | 12 | 「南ふれあい文化祭」へのイベント参加 (本校生徒作品の展示、メカトロ(ロボット)体験教室の実施) | みなみまちづくり協議会 | 電子機械技術部／10月 |
| 15 | 地域イベント参加② 「飛騨・高山 秋の文化・産業 フェスティバル」 | 3 | 4 | 専門に関わるイベントに参加することで、実際に体験し、専門性を高める糧とし自ら学ぶ意欲と社会に主体的に対応する能力を養う。また、展示発表を通してコミュニケーション能力を育てる。 | 飛騨・世界生活文化センター 活用推進協議会／共催:協 同組合飛騨木工連合会 | 建築インテリア科／11月 |
| 16 | 花里小学校との交流 | 3 | 20 | 児童が高校を訪れ、ものづくり体験等を通して高校の理解につなげるとともに、進路学習の一環とする。(施設・設備見学、ものづくり体験) | 高山市立花里小学校 (6年 生/47人) | 各科実習室／11月 |
| 17 | 外部講師による実技指導 | 3 | 16 | 地元の伝統技術を伝承するため、技術講師を招き、直接指導を受け、伝統工芸に貢献できる技能・技術者を育てる。 | 小坂 礼之 氏／小坂彫房 (本校OB) | 建築インテリア科／11～ 12月 <過去14年の実績 > |
| 18 | 東日本大震災への復興支援 活動 | 3 | 5 | 生産系部活動で製作した遊具(滑り台、ジャングルジム等)を現地の保育園等を訪問・寄贈し、交流を深めた。 | 福島県南相馬市 | 建築インテリア技術部／12月 |
| 19 | 中学校に作品展示 | 3 | 10 | 本校生徒の実習作品を中学校に展示し、中学生にもものづくりに対する興味・関心を待たせ、中学生の進路指導の一助とする。また、本校(学科)の授業内容の理解と、学校PRにつなげる。 | 松倉中学校、日枝中学校、 中山中学校、東山中学校 (旧高山市内4中学校) | 各科学徒作品／10～3月 * 掲示板の製作・設置 |

■ 計画中の内容や高山市等との連携が可能と思われる内容 (H28年度計画)

| No. | 名称(事業名など) | 参加生徒 | | 実施内容、テーマなど | 連携自治体・組織など | その他 (担当／実施月) |
|-----|----------------------------|-------|----|--|--|--------------|
| | | 学年 | 人数 | | | |
| 1 | サテライト事業 | 1.2.3 | 全員 | 市内の空き店舗を借用(賃借)し、サテライトキャンパス“飛騨の工房”を開設。地元企業等と連携して開発した製品を製作・販売する。また、ものづくり体験教室を開催する。 | 高山陣屋朝市、高山陣屋、 パロ-SC、地元企業 | 各学科／通年 |
| 2 | テクノボランティア事業 「祭り屋台のLED化」 | 1.2.3 | - | 高山祭り屋台の提灯に使用されている光源を白熱電球からLED光源に変更。(LED化) | 川原町「青龍臺組」 | 電子機械技術部／4月 |
| 3 | 中学校に作品展示 | 3 | 10 | 本校生徒の実習作品を中学校に展示することで、中学生にもものづくりに対する興味・関心を待たせ、進路指導の一助とする。また、本校(学科)の授業内容の理解と、学校PRにつなげる。 | 松倉中学校、日枝中学校、 中山中学校、東山中学校 (旧高山市内4中学校) | 各科学徒作品／9～2月 |

| | | | | | | |
|---|-------------------|-------|-----|--|----------------------|-----------|
| 4 | 地元企業見学 | 1 | 160 | 地元にある企業を見学することにより、将来自分が就こうとする職業等を考え、新しい知識・技術に触れることで、職業意識の高揚をはかる。 | 高山市雇用促進協議会／バス手配 | 各学科対応／11月 |
| 5 | 花里小学校との交流 | 3 | 20 | 児童が高校を訪れ、ものづくり体験等を通して高校の理解につなげるとともに、進路学習の一環とする。(施設・設備見学、ものづくり体験) | 高山市立花里小学校 (6年生/1クラス) | 各科実習室／11月 |
| 6 | 山王小学校との交流 | 3 | 20 | 児童が高校を訪れ、ものづくり体験等を通して高校の理解につなげるとともに、進路学習の一環とする。(施設・設備見学、ものづくり体験) | 高山市立山王小学校 (6年生/2クラス) | 各科実習室／11月 |
| 7 | 第6回小水力発電アイデアコンテスト | 1.2.3 | 100 | 地域の自然資源を活用した小水力発電のアイデアを提案し、設計・製作を通じて地域の担い手として課題を解決する力を身につける。(東海・北陸高専とのコラボ) | 高山市環境政策推進課 | 電気科／通年 |

■その他 (H28年度計画事業)

| No. | 名称(事業名など) | 参加生徒 | | 実施内容、テーマなど | 連携自治体・組織など | その他 (担当/実施月) |
|-----|---------------------------------|-------|-----|--|---|------------------------------|
| | | 学年 | 人数 | | | |
| 1 | 特別支援学校との交流 | 2.3 | 9 | 学校間での生徒の理解を深める。 (人と関わることの楽しさ、支援の輪の広がり、支援や介助の体験、障がいがある子の理解、キャリア教育の一助) | 飛騨特別支援学校日赤分校 | 本校生徒会／7,8,2月 |
| 2 | 産業現場における実習 | 3 | 4 | 木製家具製造会社に出向き、家具製造の一連の工程を体験するとともに、プロの指導のもと、家具(スツール)製作する。 (地場産業を担う人材育成) | 飛騨木工連合会 (実習先: 飛騨産業(株)、柏木工(株)、日進木工(株)、(株)シラカワ) | 建築インテリア科／7～10月 <過去26年の実績> |
| 3 | 地域イベント参加①「全国削ろう会 飛騨高山大会」 | 1.2.3 | - | 「全国削ろう会 飛騨高山大会」へのボランティア参加 (事前準備、当日の運営補助) | 「全国削ろう会 飛騨高山大会」高山実行委員会 | 建築インテリア技術部／5月 |
| 4 | 地域イベント参加②「カンナ華でフラワーアート」 | 1.2.3 | - | 「親子で体験/カンナ華でフラワーアート」へのボランティア参加 (事前準備、当日の運営補助) | 高山中央ロータリークラブ | 建築インテリア技術部／8月 |
| 5 | 地域イベント参加③「南ふれあい文化祭」 | 1.2.3 | - | 「南ふれあい文化祭」へのイベント参加 (本校生徒作品の展示、ものづくり体験教室の実施) | みなみまちづくり協議会 | 電子機械技術部／10月 |
| 6 | 地域イベント参加④「飛騨・高山 秋の文化・産業フェスティバル」 | 3 | 4 | 専門に関わるイベントに参加することで、実際に体験し、専門性を高める糧とし、自ら学ぶ意欲と社会に主体的に対応する能力を養う。また、展示発表を通してコミュニケーション能力を育てる。 | 飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会/共催:協同組合 飛騨木工連合会 | 建築インテリア科／11月 |
| 7 | インターンシップ | 2 | 138 | インターンシップを実施することで、勤労観・職業観を醸成し、主体的に進路を選択する能力や問題を解決する資質や能力、人間として調和のとれた豊かな人間性などの「生きる力」を育成する。 | 地元企業/岐阜県教育委員会 | 各学科対応/10月 |
| 8 | 外部講師による実技指導 | 3 | 17 | 地元の伝統技術を伝承するため、技術講師を招き、直接指導を受け、伝統工芸に貢献できる技能・技術者を育てる。 | 小坂 礼之 氏/小坂彫房 (本校OB) | 建築インテリア科/11～12月<過去15年の実績> |

地域等との連携について

高山西高等学校

■実施している内容

<2016年3月調査>

| No | 名称(事業名など) | 参加生徒 | | 実施内容、テーマなど | 連携自治体・組織など | その他 |
|----|--------------------|-------|-----|--|---------------------------|-------|
| | | 学年 | 人数 | | | |
| 1 | ぎふグローバル人材育成推進モデル事業 | 1.2 | 240 | 「飛騨学」で一流の飛騨びとの語りを聞く。「探求飛騨」で飛騨の魅力、現状、課題を探求する。 | 文科省・岐阜県・飛騨地域各市村・慶應義塾大・岐阜大 | 実施2年目 |
| 2 | 英語スピーチコンテスト | 1.2.3 | 10 | 選手として参加。 | 高山市・国際協会 | |
| 3 | MSリーダーズ | 1.2.3 | 20 | マナーアップひだ等の街頭活動。 | 高山警察署 | |
| 4 | ウインアンサンブル | 1.2.3 | ~50 | やまゆり学園等訪問演奏する。 | 国際ソロプチミスト高山 | 部員 |
| 5 | 議会との意見交流 | 2 | 4 | 外国人観光客について考察。 | 高山市議会 | |
| 6 | 献血 | 1.2.3 | 100 | 献血 | 赤十字血液センター・高山ライオンズクラブ | |
| 7 | 年金に関する作文 | 1 | 210 | 年金に関する作文応募 | 日本年金機構 | |
| 8 | 租税教室 | 3 | 80 | 税に関する講演会実施。 | 高山税務署 | |
| 9 | 定期演奏会 | 1.2.3 | 50 | ウインドアンサンブルの演奏会。 | 市民文化会館 | 部員 |

■計画中的の内容や高山市等との連携が可能と思われる内容

| No | 名称(事業名など) | 参加生徒 | | 実施内容、テーマなど | 連携自治体・組織など | その他 |
|----|----------------------|-------|-----|--|---------------------------|-------|
| | | 学年 | 人数 | | | |
| 1 | SGH(スーパーグローバルハイスクール) | 1.2.3 | 360 | 「飛騨学」で一流の飛騨びとの語りを聞く。「探求飛騨」で飛騨の魅力、現状、課題を探求する。 | 文科省・岐阜県・飛騨地域各市村・慶應義塾大・岐阜大 | 実施2年目 |